

新日本保険新聞

(損保版)

第1～4月曜日発行
発行所 新日本保険新聞社
大阪府西区朝本町1丁目5-15
(郵便番号550-0004)
電話 (06) 6225-0550 (代表)
FAX (06) 6225-0551 (専用)
購読料 1か月2160円
(消費税、送料込み)
©新日本保険新聞社 2017

シンニチ保険Web

www.shinnihon-ins.co.jp

生損保業界の最新ニュースを掲載しているほか、保険セールスに役立つ書籍・ソフトの販売やセミナーの案内などを行っています。

共栄

全国優績代理店表彰式を開催

共栄火災は6月5日、東京・台場のランドニコ東京で全国優績代理店表彰式およびロイヤル特級代理店認定式を開いた。全国優績代理店表彰は、同社の農林水産系統代理店組織「農林水産代理店研究会」と信用金庫関係代理店組織「全国信栄研究会」、生協代理店組織「共栄生協パートナークラブ」、専業代理店組織「共栄プロクラブ」の全代理店を対象に、優績代理店を表彰するチャネル横断的な制度で、今年で5回目の実施。

全チャネル対象に50社を表彰

ロイヤル特級代理店認定式も

表彰は同社の全チャネル代理店1万0313店を対象に、2016年度の増収額や増率、損害率の合計ポイントで成績上位の代理店を優績代理店として選定。一般計部門

30社と自動車ノンフリールト部門10社、自賠責増収部門10社の計50社が表彰された(当日は43社が出席)。各部門の上位3代理店は以下のとおり。一般計部門

1位・大和ハウス工業株式会社、2位・丸紅セーフネット株式会社、3位・日本ハムライフサービス株式会社。自動車ノンフリールト部門1位・小林保険サービス、2位・株式会社水留保険事務所、3位・株式会社エコー。自賠責増収部門1位・関東いすゞ自動車株式会社、2位・茨城いすゞ自動車株式会社、3位・株式会社ピーエムホールディングス。



全国優績代理店表彰式で挨拶する杉中社長

また、今回から新たに、2014年度から16年度の増収額が1500万円以上の代理店と同期間での新設自賠責のみ代理店のうち一般計増収額が500万円以上、または火災・傷害・新種計3000万円以上、または火災・傷害・新種計4000万円以上となる代理店を法人化した。

保険リスクマネジメント研究会

RMC A、全日本保険FP協会 発足
FP塾が統合



松本 一成氏
奥田 雅也氏

リスクマネジメントの普及に取り組むNPO法人日本リスクマネジメント協会(RMCA)と法人保険研究会(RMCA)とが、保険募集の優績者定制度などを運営するNPO法人全日本保険FP協会、保険募集の優績者

の輩出・育成に取り組む一般社団法人FP塾がこれら2つの組織として保険業界向け組織「保険リスクマネジメント研究会」を7月1日付で発足させる。全日本保険FP協会とFP塾を組織解消させ、両団体が運営してきた資格制度などをRMCAが継承する形で運営事業に組み込む。

RMCAではこれまで、リスクマネジメント経営の基礎を学ぶ「リスクマネジメント基礎講座」や中小企業に対して独自のリスク診断ツールを用いて診断・指南できる認

定資格「リスク診断士」の制度を運営。7月以降は全日本保険FP協会とFP塾が運営してきた財務基礎講座(資格名称は「FP」)や保険リスクマネジメント講座(法人保険アドバイザー)、法人生生保護講座(法人保険アドバイザー)を新たにRMCAの運営制度に加え、これら各種制度の推進をこのほど発足させた同研究会が担うことで、保険代理店や募集人向けの制度内容や提供サービスの拡充を図る。

従来、RMCAの会員は損保系の保険代理店が多く、全日本保険FP協会はFP塾は生保系の保険代理店や保険募集人が大半だったが、今回の組織統合により生損保の保険代理店や募集人を会員として募り、各種サービスを提供していく考え

表彰式当日に挨拶した同社の杉中社長は、今年7月1日で同社創業75周年を迎えることについて言及、「これまでの

歴史を積み上げてこれら1マに掲げ、代理店やお客様とのつながりを第一に考えつつ事業拡大を図っていききたい」と述べた。

RMCA副理事長で同研究会会長となる松本一成氏(株式会社A.I.P代表)は「保険代理店が互いの経験値や知見を持ち寄り、互いを育むような組織にしていきたい」と抱負を述べ、RMCA理事で同研究会副会長となる奥田雅也氏(株式会社サンライスコポレーション)は「日本の法人の大半を占める中小零細企業を保険リスクマネジメントというツールを使ってお守りすること、日本経済の活性化の一助になりたい」と話した。

RMCAは93年12月に設立。個人会員は約450名で、法人会員は13社。多岐にわたる業種のリスクマネジメントの専門家がいる。会員には保険代理店が多く全体の約5割を占める。全日本保

いろいろな習い事で発表会等が開催されることある。観客の大半は出演者の家族と友人だ。ただ、先日、出演者の身内ではないが、朗読発表会なるものに行ってきた。また国立文楽劇場の公演予定の中に朗読発表会を発見。講師名が昔出会ったことのある元アナウンサーの笹谷清子さんだったため、懐かしくなった。私の認識では話し方教室の先生だったが、朗読もあるのか。朗読なら発表会というものができるのかもしれない。その朗読発表会は一人10分程度で、それぞれ雰囲気は異なるが、いず

春秋

いろいろな習い事で発表会等が開催されることある。観客の大半は出演者の家族と友人だ。ただ、先日、出演者の身内ではないが、朗読発表会なるものに行ってきた。また国立文楽劇場の公演予定の中に朗読発表会を発見。講師名が昔出会ったことのある元アナウンサーの笹谷清子さんだったため、懐かしくなった。私の認識では話し方教室の先生だったが、朗読もあるのか。朗読なら発表会というものができるのかもしれない。その朗読発表会は一人10分程度で、それぞれ雰囲気は異なるが、いず

働き方改革、難しく考えないで

定資格「リスク診断士」の制度を運営。7月以降は全日本保険FP協会とFP塾が運営してきた財務基礎講座(資格名称は「FP」)や保険リスクマネジメント講座(法人保険アドバイザー)、法人生生保護講座(法人保険アドバイザー)を新たにRMCAの運営制度に加え、これら各種制度の推進をこのほど発足させた同研究会が担うことで、保険代理店や募集人向けの制度内容や提供サービスの拡充を図る。

私も表現力豊かな朗読だった。思わず話に引き込まれる。教室では発声練習等で身体全体で声を出す訓練のうえ、本を読み込み、表現力を養っていくのだそうだ。生徒は高齢の先生の人間性に魅かれ、練習に精を出すという。朗読ボランティアに活かし

ているようだ。私の会社では長時間労働を見直し、健康に、働きやすさ、やりがいをもって生産性を上げる。また学ぶ精神を大切に。具体的には基本的に19時退社。時間の有効活用。職場だけでなく友人との飲食、早く帰宅して家族との団らん、様々な習い事や勉強。今まで長年、長時間勤務を当然としてきた我々には戸惑いが大きいというのが現実ではないだろうか。時間を活かす。自分の仕事に没頭するのではなく、いわゆる仕事に直結する勉強だけでなく、社外の人との交流や読書、セミナー参加など、何か得るものがあるはずだ。新しい世界に飛び込むチャンスと考えたい。(三和)